

帝キネ小阪映畫

原作者
脚色者
撮影者

前田
近松
越後
阪島
藤門
照陽
成吉
秋堅
曙山
吉氏
治山
三郎
郡氏
子娘

(配役)
四社競作であつた「孔雀の光」も日活松竹の
乗組やマキノの未完成のため最終篇は小阪映畫
のみになつた。近松門吉氏の脚色も原作に劣ら
ぬ興太振りで手取早く結末を結ばせて居る。後
藤秋聲氏の監督又俗受のみを狙つた連續映畫式
手法を以つて俗衆を嬉しがられせて居る。最後
の追かけなど俗衆は熱狂的拍手を送つて居る。
俳優は泉嶋子娘であつた八重姫の役が宣彌代
子娘に變更された外從前通りの配役であるが小
阪照子娘のお節が依然無理であるは比較的適
役捕ひで各優共持役の味を出して居る。

興行價值——各社が製作中止や未完成のため小
阪映畫獨占となつたので利益が多い。(八月十
九日 大阪寶通劇場 神戸相生座 京都キネマ
俱樂部封切)

山本綠葉——

京都キネマ

第二百十九號參照
四社競作であつた「孔雀の光」も日活松竹の
乗組やマキノの未完成のため最終篇は小阪映畫
のみになつた。近松門吉氏の脚色も原作に劣ら
ぬ興太振りで手取早く結末を結ばせて居る。後
藤秋聲氏の監督又俗受のみを狙つた連續映畫式
手法を以つて俗衆を嬉しがられさせて居る。最後
の追かけなど俗衆は熱狂的拍手を送つて居る。
俳優は泉嶋子娘であつた八重姫の役が宣彌代
子娘に變更された外從前通りの配役であるが小
阪照子娘のお節が依然無理であるは比較的適
役捕ひで各優共持役の味を出して居る。

興行價值——各社が製作中止や未完成のため小
阪映畫獨占となつたので利益が多い。(八月十
九日 大阪寶通劇場 神戸相生座 京都キネマ
俱樂部封切)

山本綠葉——